

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号: 3612 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役 副社長執行役員 中林 恵一
 (電話番号: IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2025年2月期 (2024/3/1~2025/2/28)		上期							下期					通期		
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	1H	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上	※1	98.0	104.8	101.1	109.0	99.2	101.6	102.1	102.9	94.2	105.2	102.7	98.8	92.0	99.6	100.8
店舗売上	※2	97.5	102.4	98.3	109.0	95.6	101.6	100.5	102.1	92.2	104.4	100.4	98.9	93.5	98.7	99.6
既存店売上	※3	97.9	103.5	99.4	111.0	96.5	102.3	101.4	103.2	92.7	104.7	100.2	98.8	91.6	98.6	99.9
Eコマース売上	※4	100.1	115.1	112.6	109.0	114.3	101.4	108.8	105.9	102.3	108.0	111.7	98.6	87.9	102.4	105.3
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数	※2	2,207	2,221	2,217	2,218	2,198	2,181	—	2,200	2,220	2,228	2,279	2,255	2,262	—	—
出店		30	16	1	1	7	5	60	25	20	9	3	1	18	76	136
退店		15	2	5	0	27	22	71	6	0	1	0	25	11	43	114
M&A		8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	48	0	0	48	56
既存店対象店舗数	※3	2,007	2,033	2,040	2,039	2,018	1,990	—	1,993	2,001	2,007	2,011	1,989	1,985	—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。なお、ラクサス・テクノロジーズ㈱の売上は2024年12月13日のIPOに伴って2025年1月度より除外となり、EC売上において年間通じて平均6%程度のマイナス影響と試算しております。

(当月の概況)

休日数(前年差)

当月 ±0

前年同月 +1

当月は、国内小売売上が前年同月比92.0%となり、内訳は店舗売上が同93.5%、Eコマース売上が同87.9%となりました。既存店売上は前年同月比91.6%でした。
 休日数の前年差はございませんが、前年同月がうるう年のため、営業日のマイナス影響が約3.5%あったものと推計しております。
 当月の店舗販路では、春商材を全面に打ち出した売場構成を展開しました。しかし、強い寒気の影響で気温が前年よりかなり低かったことから、カジュアルなマウンテンパーカーやトレンチコートなど春アウターの稼働が低調でした。
 EC販路でも、服飾雑貨などの売上が伸長した反面、店舗販路と同じく、アパレルは軽羽織などを伸ばせませんでした。防寒商材の在庫も品薄であったことも重なり、ラクサス連結除外のマイナス影響を吸収するには力不足でした。
 アイテム別では、アパレルにおいて、カジュアルな春アウターの動きが前年より鈍い動きとなった一方、1月後半から動き出したセレモニー向けのジャケットや素材を切り替えた春カラーニットが月末にかけて好調に推移しました。
 ブランド別では雑貨ブランドの健闘が光りました。ジュエリー「ココシュニツク」が続伸したほか、インティメイト「リサマリ」やシューズ「エスベランサ」に加えて、自家需要を捉えた生活雑貨「212キッチン」などがいずれも好調でした。

お知らせ: 2025年2月期決算発表表(Tdnet及びホームページでの開示)は、4月3日(木)の予定です。

(参考: 前期実績)

2024年2月期 (2023/4/1~2024/2/29)		上期							下期					通期		
		4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	1H	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		105.4	105.7	105.0	111.5	111.1	99.6	106.3	102.1	107.0	101.4	102.5	107.5	103.8	105.1	
店舗売上		106.0	105.5	105.0	113.6	113.0	100.4	107.2	100.7	107.2	101.4	101.1	106.4	103.0	105.1	
既存店売上		109.7	109.2	108.4	118.2	118.2	102.7	110.9	103.7	110.6	104.8	104.7	107.5	105.9	108.3	
Eコマース売上		102.8	106.3	105.2	103.6	104.3	96.6	103.2	108.5	106.4	101.6	106.6	110.8	106.6	105.0	
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,225	2,223	2,223	2,205	2,202	2,208	—	2,210	2,215	2,218	2,184	2,184	—	—	
出店		11	0	1	2	4	11	29	4	6	4	0	10	24	53	
退店		10	2	1	20	13	5	51	2	1	1	34	20	58	109	
M&A		0	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	10	10	16	
既存店対象店舗数		2,086	2,094	2,091	2,067	2,049	2,048	—	2,052	2,056	2,062	2,022	1,998	—	—	